

京都スポーツヒル構想(案)

～山城総合運動公園スポーツ施設改修整備計画～

【1 整備の基本的な考え方】

(1) 施設の特長を生かすという視点

- ・ 都市部に近い立地環境
- ・ 70万人を超える人々がスポーツ施設を利用
→ スポーツ施設の充実の要望
- ・ 複数のスポーツ施設を有する
(陸上競技場、球技場、野球場、テニスコート、体育館等)
→ 大規模なスポーツ施設の新設は困難

(2) スポーツ施設の整備という視点

(3) 財源の確保(国の補助制度の活用)という視点

【2 整備の方向】

～幅広い府民のスポーツ活動拠点を目指して～

- 競技スポーツ+日帰りで、手軽にスポーツに親しめる拠点
- 災害時には防災拠点としても活用

【3 整備のポイント】

- ① スポーツに親しみやすい環境の整備
- ② 安心・安全なスポーツ環境の整備
- ③ 新しいスポーツニーズへの対応
- ④ 防災拠点としての活用

① スポーツに親しみやすい環境の整備

- 誰もが利用しやすい環境の整備（機能の向上）
→土のグラウンドの人工芝生化
（全天候に対応、多種目の競技への対応 等）

整備イメージ



グラウンドの芝生化

- 陸上競技場の夜間照明設置
（夜間の大会の開催 等）

整備イメージ



夜間照明

●誰もが快適に利用できる環境の整備(アメニティの向上)

→クラブハウスの新設(更衣環境等)

(陸上競技場・第2競技場・球技場利用者へ対応)

→既存のクラブハウスの更新(更衣環境等)

(野球場・テニスコート利用者へ対応)

現況



整備イメージ



整備場所イメージ



② 安心・安全なスポーツ環境の整備

- 誰もが安心して安全に利用できる施設(荒天時の避難場所等)

→陸上競技場の屋根設置

→テニスコートの屋根設置

現況

テニスコート



整備イメージ



→クラブハウスの整備



③ 新しいスポーツニーズへの対応

- 国体競技でありながら府南部に練習施設のないもの
 - ・ 弓道練習場(遠的)



弓道練習場(遠的)

- 府民ニーズに対応する新たな施設
 - ・ フットサル、グラウンドゴルフ等

④ 防災拠点としての活用

- 山城総合運動公園は、府南部の広域防災活動拠点に位置づけられており、大規模災害時の拠点として活用

→ 支援物資保管所、防災活動スペース等



テニスコート屋根設置
(写真はイメージです)



支援物資等の保管場所
(写真はイメージです)
提供：志那市役所



24時間の防災活動スペース
(写真はイメージです)
提供：神奈川県総合防災センター

【4 さらなる整備に向けて】

硬式野球場の改修整備

グラウンドの拡張、夜間照明、スタンドの拡張

相撲練習場の整備(今後の検討課題)

伏見港公園の相撲施設の老朽化等